

特別号

第41回全日本中学校バレーボール選手権大会

広報うけん

全国準優勝!

田検・久志中学男子バレー

津田大地くんと伊元幸正くんが優秀選手

大きな舞台で快挙を達成!!



全国準優勝のメダルを胸に笑顔を見せる田検・久志男子バレーボール部 (20日大阪市中央体育館=提供写真)

全力で最後まで戦い抜いた

2011年度全国中学校体育大会・第41回全日本中学校バレーボール選手権大会が八月十八日から二十日の三日間にかけて大阪市中央体育館などで開催されました。

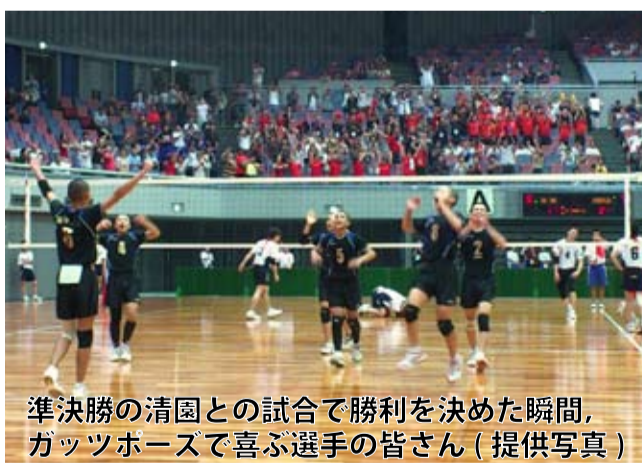
同大会へ九州地区の代表として出場した本村の田検・久志合同男子バレーボール部が全国各地から強豪三十六校が出場した中で準優勝に輝くという、快挙を達成しました。

田検・久志は十八日の予選で、駅家(広島)と対戦。緊張のせいか第1セットは思うようにプレーができず、22-25で落としましたが、第2・3セットは本来の調子を取り戻し、逆転勝利で決勝トーナメント進出を決めました。

十九日の大会二日目では、決勝トーナメント2回戦で三木(香川)と対戦。第1セットをジュースに持ち込まれる苦

しい場面もありましたが、セットカウント20で勝利すると、続く準々決勝もサレジオ(東京)を相手にストリート勝ちし、ベスト4入りを果たしました。

二十日の最終日は、準決勝で清園(北海道)と対戦。両校一步も譲らず、フルセットまでもつれる接戦を展開しましたが、第3セット目に、しっかり拾ってアタッカーへ繋ぐ得意の攻撃スタイルを發揮することができ、終盤に引き離し、決勝進出を決めました。



準決勝の清園との試合で勝利を決めた瞬間、ガッツポーズで喜ぶ選手の皆さん(提供写真)

決勝では大会三連覇中の駿台学園(東京)と対戦。相手の強烈なスパイクと攻めのサーブに、試合の流れを掴むことができず、ストレートで敗れました。

決勝では敗れたものの、三日間の激闘を全員で戦い抜いた子供たちは、全力を出し切った達成感とたくましく成長した姿を見せてくれました。

同大会で村立中が準優勝したのは初めてで、津田大地くん(久志中三年)と伊元幸正くん(田検中二年)が、大会優秀選手に選ばれました。

多くの応援が力になった

会場には、保護者や関西在住の村出身者など大勢の応援団が駆けつけ、大声援を送り子供たちを後押ししました。

さらに、二十日の最終日に宇検村では、ラジオや防災無線などで試合経過が放送され、村を挙げて応援しました。

2011.9 SEP.

Vol.295

鹿児島県大島郡宇検村湯湾915番地
電話: 0997(67)2211番
FAX: 0997(67)2262番
発行所: 宇検村役場
編集: 総務企画課
URL: http://www.uken.net
Mail: soumuk@uken.net

選手ら凱旋！ 21日奄美空港で出迎え、22日元氣の出る館で祝勝会を開催。

快挙を達成した13人を祝福

感動をありがとう!!



大歓声に包まれる中、準優勝のメダルを胸に姿を見せた田検・久志男子バレーボール部(21日奄美空港)

広報うけん

田検・久志合同チーム名簿

	とくなが やすかず 徳永 悌一 監督(田検中教諭)
	はせがわ あい 長谷川 愛 監督(久志中教諭)
	かめいし かずのり 亀石 和徳 コーチ
	じゅやま りく 背番号① 壽山 陸 田検中3年、身長146cm
	つだ だいち 背番号② 津田 大地 久志中3年、身長177cm
	にいもと かずき 背番号③ 新元 一輝 田検中2年、身長168cm
	たけした ゆうや 背番号④ 竹下 裕也 田検中2年、身長165cm
	やなぎ しゅんすけ 背番号⑤ 柳 俊輔 田検中2年、身長163cm
	いもと ゆきまさ 背番号⑥ 伊元 幸正 田検中2年、身長181cm
	さかえ こうだい 背番号⑦ 栄 晃大 田検中2年、身長169cm
	やなぎ たいが 背番号⑧ 柳 泰雅 田検中2年、身長172cm
	こばやし とうい 背番号⑨ 小林 登生 田検中2年、身長159cm
	こじま ほから 背番号⑩ 古島 歩朗 田検中1年、身長149cm
	ふくやま ゆうせい 背番号⑪ 福山 勇清 田検中1年、身長162cm
	もり さき 背番号⑫ 森 爽樹 田検中1年、身長166cm
	めた よしひろ 背番号⑬ 米田 祥広 田検中1年、身長145cm

人出の多さから急ぎよ場所を移して歓迎セレモニーが行われ、徳永悌一監督や選手から大会結果の報告があったほか、全員で万歳三唱を行い、選

手に健闘を称えました。翌八月二十二日には選手が役場を訪れ、準優勝の報告をすると共に、選手一人一人が全国大会を通して感じたことなどを語ってくれました。

奄美空港のロビーには村民や島内の他校バレーボール部員、バレーボール競技関係者など多くの方が詰めかけ、「全国準優勝おめでとう」「感動をありがとう!」などと書かれた横断幕を掲げて選手らを出迎えました。

到着ロビーに選手団が姿を見せると大きな歓声と拍手が上がり、祝福ムードに包まれました。

元氣の出る館で大勢の村民が選手を祝福

祝勝会は、八月二十二日午後六時半から宇検村元氣の出る館にて、盛大に開かれ、多くの村民や島内バレーボール関係者が出席し、選手たちを祝福しました。

メダルを胸に入場すると、会場を埋め尽くした出席者から大きな拍手が送られました。壇上に立った選手一人ずつが、大会の感想や感謝の言葉を述べたほか、全国大会の試合のようすもスクリーンで放映されました。



役場での準優勝報告のようす(22日村長室)



多くの村民らが出席し、開催した祝賀会(22日元氣の出る館)

「強いチームばかりでしたが、皆さんのおかげで準優勝できました。来年は後輩たちが優勝してくれると思います。自分たちも高校で日本一を目指します。」などと力強く語ってくれました。

今大会が中学での最後の大会となった三年生の壽山陸主将とエースの津田大地選手は、「強いチームばかりでしたが、皆さんのおかげで準優勝できました。来年は後輩たちが優勝してくれると思います。自分たちも高校で日本一を目指します。」などと力強く語ってくれました。